報道関係者各位

saveMLAKプロジェクト

**saveMLAK報告会2013  
～社会教育・文化施設の救援・復興支援～（仮）**

**開催のお知らせ**

太字 / 中央揃え / 行間：最小値（0pt）

東日本大震災で大きな被害を受けた博物館・美術館(M)、図書館(L)、文書館(A)、公民館(K)などの社会教育・文化施設の救済・復興支援活動を行うため有志で結成したsaveMLAK（セーブ・ムラック）の活動が始まって二年が経ちました。

この間に取り組んできた活動を振り返り、今後の活動に向けて必要なこと・必要とされていることをまとめ直し、具体的な取り組みの基盤を再確認したいと考えます。

また、この機会に社会教育・文化施設に対する支援活動を継続することの重要性を共有し、各地で関心を寄せ続け、協力し合う参画者のネットワークをさらに広げていくため、ぜひご取材いただきますようよろしくお願い申し上げます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【開催概要】 | | | |
| ■ | 日時 | ： | 2013年6月30日(日)　13:00～17:00 （12:30～受付開始） |
| ■ | 会場 | ： | （京都会場） 鍵屋荘（京都市下京区）＊打診中  （横浜会場） さくらWORKS＜関内＞（横浜市中区相生町3-61 泰生ビル2F）  （福岡会場）検討中 |
| ■ | 参加費 | ： | 無料 |
| ■ | 主催 | ： | saveMLAKプロジェクト |
| ■ | 詳細 | ： | http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:Event/20130630 |
| ■ | お申込み | ： | URL ※当日参加も可能ですが、できるだけ事前の参加申し込みをお願いいたします。 |

※プログラム詳細につきましては、別紙もしくは詳細URLよりご確認ください。

「saveMLAKプロジェクト」について

　　saveMLAKプロジェクトは、MLAK（M：博物館・美術館　L：図書館　A：文書館　K：公民館）等の文化・教育施設の支援を行うプロジェクトです。Webサイト（<http://savemlak.jp/>）を通じた被災・救援情報の収集・発信も主な活動の一つです。

【お問い合せ先】

saveMLAK パブリック・リレーションズ担当：岡本 / 山村 / 北岡

E-mail：pr@savemlak.jp

電話：070-5467-7032（岡本）

住所：神奈川県横浜市中区相生町3-61　泰生ビル2F　さくらWorks＜関内＞  
アカデミック・リソース・ガイド株式会社　内　saveMLAKプロジェクト

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【プログラム】saveMLAK報告会2013 | | | |
|  | 12:30～ | ： | 受付開始 |
|  | 13:00～ | ： | 開催挨拶 |
|  | 13:10～ | ： | 基調講演１＜京都会場より中継＞  長尾真（所属確認）＊打診中  「題目未定」 |
|  | 13:50～ | ： | 基調講演２＜横浜会場より中継＞  鎌倉幸子（シャンティ国際ボランティア会）  「走れ東北！移動図書館プロジェクト」 |
|  | 14:30～ | ： | 質疑応答＋休憩 |
|  | 15:00～ | ： | saveMLAK 2012年度活動報告＜メイン会場未定＞ |
|  | 16:00～ | ： | パネルディスカッション＜全体討議 or 各会場にて＞  全体討議「（テーマ未定）」  or  京都会場「（テーマ未定）」  横浜会場「（テーマ未定）」  福岡会場「（テーマ未定）」 |
|  | 16:50～ | ： | まとめ（全会場から） |
|  | 17:00～ | ： | 閉会 |
|  | 18:30～ | ： | 懇親会（各会場にて） |